

01 教会ニュース

終わりの時を旨めさせるみわざ

生ける創造主なる神が本教会に下さったビジョンを通して待望の2017年に成し遂げてくださる驚くべき聖霊のみわざ。

02 いのちのみことば

人間を創造された神

神は自由意志をもって聞き従う子ども、心から愛を分かち合えるまことの子どもを得ようと、人を創造して耕作しておられる。

03 企画特集

信仰成長のための私たちの「回復」

主を受け入れた後、霊的に停滞せずに信仰が成長し、神に喜ばれる信仰生活を営む秘訣三つ。

支教会2月スケジュール

04 証し

「答えてくださる父なる神様～」

神の力で弾丸の破片による後遺症などがいやされたインドのジャガデスワリ聖徒と腎臓結石が祈りで排出された韓国のイスンエ執事の証し。

万民ニュース

第171号 2017. 1. 22.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

再創造の神の力で 世界を揺り動かす

2017



2016-2017年新旧送迎礼拝を前に、堂会長イ・ジェロク牧師は2016年最後の主日夕方礼拝後、本聖殿で教会総会を導いた。2017年一年間、国内外1万1千余の支・協力教会を含め全聖徒が信仰によって祈っていく、神が下さった四大ビジョンを発表した。

ビジョン1_すでに創造された被造物を変えたり新しくする「再創造の力」

「神は、一度告げられた。二度、私はそれを聞いた。力は、神のものであることよ」(詩篇62:11)

今日、地球の自然の秩序が破壊され、環境が汚染されて現れる異常気象、気候異変、自然災害なども、再創造の力の100%完成によって与えられる気温を調節する力では十分に予防したり被害を最小化できる。また、人のからだの死んだ神経や退化した組織を正常にし、罪によって変わってしまい悪に染まった人の心でも良い心に変えることができる。このような再創造の力は終わりの時に数えきれない魂を救い出す神の秘密兵器であり、最も栄えある天国、新しいエルサレムに導く神のプレゼントである。新年を迎えて想像できないわざを行える再創造の力の100%完成を期待する。

ビジョン2_万民を救いに導く「教界と海外宣教」

「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。」(第一テモテ2:4)

終わりの時、世が罪と悪で急速に染まっていくのはもちろん、神を信じると言う韓国の教界も世俗化と罪と悪で混濁していて、世の人々の非難の対象になっている。全世界で反キリスト勢力が途方もない勢いで広がっている中で、クリスチャンでさえ神を離れているのが現実だ。これに対し神は誰も否認できない神の力あるわざ、人の心まで変えさせる霊的なみことば、神の力ある働きをともに進めていく御霊の戦士、このために必要な財政的な後押し、一つの心で祈って従う聖徒を揃えている教会をはるか前から備えてこられた。世界情勢の変化とともに教会としても

時が来たので、聖霊のつむじ風が韓国の教界を浄化させ、全世界に吹き荒れるように備えていこう。

ビジョン3_主にあつて一つになり真心と全き信仰によって建て上げる「美しい聖殿」

「主は、あなたの義を光のように、あなたのさばきを真昼のように輝かされる。」(詩篇37:6)

神は聖徒が真心と全き信仰を持って光を放ち、かぐわしい香として立ち上る賛美と礼拝をささげることが望んでおられる。したがって、カナン聖殿と大聖殿建築は、良い美しい心に変えられた聖徒が主にあつて一つになり、神を愛して牧者を信頼することによって建て上げるのであり、結局神に喜ばれる信仰によってこそ完成できる。特に大聖殿は生ける神の威厳と栄光を全世界に現わす美しい象徴物であり、将来これを通して神が大いに栄光をお受けになるだろう。

ビジョン4_牧者への信頼と愛で完全に一つになった「牧者の実」

「涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取ろう。種入れをかかえ、泣きながら出て行く者は、束をかかえ、喜び叫びながら帰って来る。」(詩篇126:5-6)

教会開拓の時から、神は牧者を通して聖徒が最も美しい天国、新しいエルサレムを望むようにされ、2010年から牧者の犠牲によって霊の流れ、全く聖なるものの流れをお作りになり、まことの子どもを得るために力を注いでおられる。そして、終わりの時の摂理を成し遂げるために、牧者への信頼と愛によって完全に一つになった「牧者の実」を得ようと、数年間「信頼」を強調してこられた。牧者の涙と犠牲を通して神の愛、主の愛を本当に信じる時こそ、牧者の再創造の力を完全に自分のものとして、御霊の人、全く聖なるものとされるからだ。

2017年、新年には、再創造の力で牧者とともに数多くの魂を救いに導く主役になるだけでなく、牧者の実、すなわち、神の待ち焦がれておられるまことの子どもに変えられて、美しい天国でとこしえに称賛と光栄を受ける祝福の主人公になれるように。

人間を創造された神



堂会長イ・ジェロク牧師

「神である

【主】は土地のちりて人を形造り、
その鼻にいのちの
息を吹き込まれた。
そこで人は生きものとなった。」
(創世記2:7)

が人をお造りになれないだろうか。人の思いの中で限界を作るから、神の力を信じられないのだ。

創造主の神はアダムとエバをお造りになった後、子孫が続くように彼らにいのちの種を下さった。つまり、男の精子と女の卵子の中には親のすべての気が結集して、容貌はもちろん性格、知能、習慣などが似て生まれるようになるのだ。それなら、はたして人類の先祖アダムとエバは誰に似たのだろうか？

〈創世記1:27〉に「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女に彼らを創造された。」とあるとおり、アダムとエバは聖なる神のかたちとして造られた。単に外見だけでなく、霊である神の子どもらしく、神と交わる霊を持つ存在として創造されたのだ。

そして、神が創造された最初の人アダムは聖なる神のように善と光、真理でだけ満たされていた。だが、エデンの園で生きているうちに、神が禁じられた善悪の知識の木の実を食べて罪を犯した後は、聖なる神のかたちを失ってしまった。

2. 神が人を創造して耕作しておられる理由

私たちが「なぜ生きるのか」という人生の目的を知るためには、神が「なぜ人間を造ってこの地上に耕作しておられるか」を悟ればよい。聖書を読むと、イエス様は人の心を四つの地にたとえておられる(マタイ13章)。また、麦と穀のたとえ(マタイ3章)や麦と毒麦のたとえ(マタイ13章)を通して、将来あるさばきについても説明しておられる。

神はこのようなたえを通して、この地上に人を造って、人類の歴史を撰理のうちに進めていく過程がちょうど耕作のようなものであることを教えてくださっている。農夫が刈り入れのために地を耕作するように、神も私たちに耕作しておられるのである。

では、神はなぜ人を創造して、この地上で耕作しておられるのだろうか？それは神と愛を分かち合うまことの子どもを得るためである。創造主の神はさばきを行う方としての権威、厳格な公義などの神性的な面とともに、愛と憐れみ、慈しみなどの人性的な面がおありになる。人性を持っておられた

ので、神はひとりさびしくおられるより、愛し愛される対象を望まれた。創造主の神のそばには数多くの御使いと天の軍勢がいるが、心の芯から湧き上がる愛と自由意志をもって聞き従う、まことの子どもを望んでおられたのだ。

もし皆さんにどんなことでも言うことを聞くロボットと、時々問題は起すが心を分かち合える子どもがいるなら、どちらのほうが大切だろうか？いくら言うことをよく聞くロボットでも、心を分かち合える子どもに比べることはできない。このように自由意志をもって聞き従う子ども、心から愛を分かち合えるまことの子どもを得ようと、人を創造されたのである。

3. 麦と穀

農夫が最善を尽くして耕作しても、刈り入れの時は麦だけでなく、穀が混ざって出るものである。穀は食べることもできないし、麦とともに倉に収めれば麦まで食べられなくなるので、肥料に使うか、火で焼いてしまうしかない。

同じように、神も人間を耕作して、最後には麦と穀を分ける作業をなさる。〈マタイ3:12〉に「手に箕を持っておられ、ご自分の脱穀場をすみずみまできよめられます。麦を倉に納め、穀を消えない火で焼き尽くされます。」とある。ここで「消えない火」とは、地獄の火を意味している。

神が定めておかれた終わりの時になれば、人間耕作を締めくくって、この地上に生きていたすべての人をさばかれるようになる。この時、麦でなく穀になった人々は地獄の火に落ちるしかない。

麦とは、イエス・キリストを受け入れて、神を愛してみことばどおり生きていく人々で、まめに罪と悪を捨てて聖なる神のかたちを回復した人々のことである。反対に穀とは、神を信じないで、イエス・キリストを救い主として受け入れなかった人々のことである。

ここで重要なのは、教会に通っているからといって全部麦ではないということである。口では主を信じると言いながら、みことばどおり生きないで、世の欲を追って罪と悪の中で生きている人々も穀だということだ。それで、〈マタイ7:21〉に「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るの

ではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。」とあるのだ。

神はすべての人がそのお心を知って、麦になって救われるのを望んでおられる(第一テモテ2:4)。それで、ひとり子イエス様まで十字架の死に渡してくださった。それでも主を救い主として受け入れず、相変わらず罪の中で生きている人々は、神のかたちとして造られた人としての真の価値を回復できない。

このような人は穀にすぎないので、麦になった人々と一緒に天国に入れることができないのだ。憎しみ、そねみなどあらゆる悪を持っている人々を天国に入れれば、美しい天国が汚染されてしまうからである。

それでは、天国に入れなかった人々は結局どうなるだろうか？人の霊と魂は永遠不滅なので消滅できない。だから、彼らも集めて永遠に地獄に閉じ込めておくのだ。穀になった人々はそれぞれの罪にしたがって、消えない火の中で永遠の刑罰を受けることになる(イ・ジェロク牧師『地獄』参照)。

愛する聖徒の皆さん、

主にあって信仰によって神に似せられた聖なるきよい心を持つ麦、すなわち、まことの子どもとして出て来て、栄えある天国で父なる神と愛を分かち合いながら永遠に生きていかれるよう、主の御名によって祈る。

天国(上) 26言語で翻訳・出版
天国(下) 14言語で翻訳・出版

URIM BOOKS
www.urimbooks.com



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

信仰成長のために 回復すべき三つ

赤ちゃんが成長しておとなになるように、主にあっても子どもの信仰から小さい者、若い者、父の信仰に成長して、キリストの満ち満ちた身たけにまで達しなければならない(第一ヨハネ2:12-14,エペソ4:13)。ところが、もし自分の信仰が停滞しているなら、そこには必ず理由がある。主にあって信仰成長のために必要な三つの項目を調べて、聖霊の力によってすみやかに変えられ、最も美しい天国、新しいエルサレムの主人公になられるように。



POINT 1

初めの愛を
回復し
なければならない

自分の信仰が停滞している場合、真っ先にチェックすべきことは主への初めの愛だ。〈黙示録2:3-5〉に「初めの愛」がどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めの行いをしなさい、とある。

ある人は「毎日90%以上主のために生きているから」自分は神を第一に愛していると思う。しかし、初めの愛で熱い信仰生活をしていた時は100%、全部が主への心だった。教会に行くということだけでときめいて幸せだったし、聖殿に集まり、家庭、職場など、どこで何をしようとも、主に会った喜びで満たされていた。

初めの愛を失えば、教会でも世のことが思い出され、蜂蜜のように甘かった説教も退屈に感じられ始める。そうするうちに「このくらいなら」と思いながら世に属するものに接するようになって「勉強のため、働くためには仕方ない」と信仰生活を怠けるようになる。

本当に主を愛して初めの愛の恵みが熱ければ、勉強をするにも、仕事をするにも、何をするにも、聖霊に満たされて幸せな心でうまくいく。「主に自分の心を100%ささげる」ということは、何をしても心の中にいつも主がおられるということだ。

POINT 2

信仰の基本を
回復し
なければならない

中学を卒業して高校生になったとしても、数学の基礎がないなら、中学の数学からもう一度勉強して基礎を作ってこそ、高校の進度について行ける。これと同じように、信仰生活においても基本から回復する必要がある。

信仰の基本としては礼拝と祈りが挙げられる。信仰生活をいくら長くしたとしても、みことばを聞いて従うことによって自分の中にどれほど美しい実を結んでいるのか、顧みなければならない。

まことの信仰は父なる神と一対一の関係である。自分の目に「良く見えるから、そうしなければならないようだから」などの理由で何かを追い求めていたり、神の働きを忠実にしているからといって、礼拝と祈りをおろそかにするようなことがあってはならない。

したがって、礼拝が回復してこそ信仰が正しく立てられる。もし居眠りして雑念にふけりながら礼拝をささげるなら、みことばが耳に入らず罪から立ち返る力も与えられない。信仰の基本

に忠実でない理由の一つが「私は神様の働きをしている」と思うからだ。

神の働きと神のみこころは違う。神の働きをいくらたくさんしても、自分の中に霊的に満たされるものが微弱なら、相変わらず心はうつろだ。忠実に奉仕しても、祈らないで心に割礼をしないならば、これは神のみこころではない。つかの間、肉的に満足することで終わるからだ。

本当に神の働きのために忠実であったなら、はたして自分の中にどれほど神の望んでおられることを実践していったのか、祈りと礼拝生活をどれほど完全に積んでいったのか、チェックしなければならないだろう。

もう一つ重要なことがまさに家庭の回復である。家庭の信仰が正しく立てられてこそ、その構成員の信仰も正しく立てられる。教会生活と家庭生活が一致してこそ正しい信仰生活ができる。家庭が信仰によって回復し、礼拝と祈りが回復した時にはじめて信仰の基礎を積んでいけるのだ。

POINT 3

神のかたちを
回復し
なければならない

もともと人は神のかたちとして造られた(創世記1:26-27)。しかし、最初の人アダムの不従順によって罪が入ってくると、肉に属するものに接して世を好きになるように、敵である悪魔・サタンがしてきた。本当は罪の本質は汚れているのに、罪と世について良い感じとして入力するように仕向けたのである。

しかし、主にあって霊とまことによって礼拝をささげれば、説教を通して神の心が感じられ、そのみこころを悟って罪が嫌いになり、みことばどおり生きたくなる恵みが臨む。祈りも無理にするのではなく、御霊によって祈りをささげるようになれば、罪を悟って捨てようとする恵みが臨む。このように信仰の味を知っていけば、心のうちにおられる助け主聖霊が慰めと喜び

を下さるので、さらに満されて幸せな信仰生活ができる。

このようにしていく信仰生活の目的は、まさに聖められて神のかたちを回復することだ。父なる神が愛する子どもに望んでおられるのは、信仰が成長し続けて、罪によって失った神のかたちを回復し、聖なる主の心に似せられていくことである。

したがって、最高の水準であるキリストの身たけに至るまで、立ち止らず精進しなければならない。小さいこと一つでもみことばに照らして発見し、完全になるために毎日変わらず努力していくと、聖霊の力で聖められ、全家を通じて忠実な者となって、最も美しく栄えある天国、新しいエルサレムに入ることが出来る。

2月支教会スケジュール

2月19日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集会(講師:チョン・キョンテ牧師)	2月22日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 スンギル牧師)
2月19日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・マルコ牧師)	2月26日(日)	名古屋万民教会	癒しの集会(講師:時國みや子牧師)
2月19日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・モニカ牧師)	2月26日(日)	飯田万民教会	創立23周年記念礼拝(講師:柳 スンギル牧師)



私はスリランカで生まれて成長しましたが、ずっと昔に別れた兄がいました。1994年、兄のアントニーは難民船に乗ってスリランカを離れた後、生死がわからなくなりました。

ところが、16年目にインド南部のチェンナイで兄が生きているという、うれしい知らせを聞きました。後でわかったことですが、兄はインドで主を受け入れてヒンズー教からキリスト教に改宗し、結婚して家族と一緒にチェンナイ万民教会で信仰生活をしていました。

兄は教会に通いながら、スリランカにいる家族の生死がわかるようにしてくださいと神様に切に祈ってきたそうです。ついに2011年7月、私はチェンナイに渡っ

「まことの平安を下さって神の力まで体験させてくださるので感謝です！」

ジャガデスワリ聖徒(34歳、インド・チェンナイ万民教会)

て、劇的に兄と再会できました。

その年の9月、私は兄についてチェンナイ万民教会に出席するようになりました。そして10月にはインド人の男性と出会って結婚もしました。けれど、文化の違いと嫁姑の葛藤、家庭の不和と言い争いのために深刻なストレスを受ける毎日でした。

このため初めての子の妊娠中、胎児の心臓が止まるのが二回も起こりました。そのたびに私はみことばどおり生きないで、相手を憎んだことを悔い改めた後、担任のハン・ジョンヒ牧師先生のハンカチの祈りを受けて危機を乗り越えることができました(使徒19:11-12)。やがて2012年7月、神様の恵みで元気な長男を出産しました。

2013年、二人目の妊娠中には病院で羊水の異常で胎児と妊婦が危険だと言われました。でも、担任の牧師先生のハンカチの祈りを受けて危機を乗り越え、次男も正常に出産できました。

私は小さい頃、スリランカに住んでいるとき、内乱に巻き込まれて弾丸の破片がからだの中にくい込む事

故に遭ったことがあります。このため全身に冷や汗が出て、高熱とともにからだが震える症状が現れたりしました。その上、小さい時から両方の耳から粘液が出て、30年間、中耳炎で人知れない苦しみを味わってきました。

ところが2015年11月、教会創立11周年を迎えて教会を訪問した万民全支教会総指導教師イ・ヒソン牧師先生に神の力が込められたハンカチの祈りを受けた後、本当に驚くべきことが私に起きました。両側の耳だれがすぐ止まっただけでなく、弾丸の破片がくいでいる症状まで完全になくなったのです。ハレルヤ！

このように驚くべき恵みを注いでくださった父なる神様に感謝して、私は教会学校の補助教師と食堂奉仕をしながら、喜びをもって聖徒さんたちに仕えています。主人と子どもたちも一緒に信仰生活をしているのですから、どれほど感謝でしょうか。主を受け入れて神の力あるわざを体験するようにされ、健康とまことの平安の祝福まで下さった慈しみ深い父なる神様に、すべての感謝と栄光をささげます。

「GCN放送でいやしの祈りを受けたら腎臓結石が排出されました！」

突然の血尿で病院に行ってみたら、右に3 mm、左に8 mmの腎臓結石があると診断されました。右側にあるものは小さくて自然に排出されることもあるが、左側の結石は破碎手術をしなければとお医者さんに言われて、手術を受けました。

ところが、結果を調べたお医者さんは「破碎した結石が尿に全部出てこなかったから、経過を見守りましょう」と思いがけないことを言いました。その時はじめて、信仰生活をしながらも「簡単な手術だからこれくらいは」と思って、神様により頼めなかった自分の姿を悟りました。

うちの教会であまりにも多くのしるしと不思議、神の力を見たし、たくさんの方の病気がいやされる光景を二つの目で目撃したのに、いざとなると信仰を見せられなかったのです。私は神様に申し訳なくて、診療予約をキャンセルして、その後ひたすら神様にだけ頼って祈りました。

時折左の肋骨の下にピリピリと痛みが感じられる時は「父なる神様、いやしてください」と祈ったし、礼拝の説教の後でくださる堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを信仰によって受けたりし



イ・スンエ執事(60歳、2大大11教区)

ました。

2016年4月28日のことでした。普段と同じように家事をしていましたが、朝7時からからだを動かさないほどおなか痛くなったのです。何もできなくて、GCN放送をつけてソファに横になりました。ちょうど「いのちのみことば」が放送されていて、イ・ジェロク先生の説教が終わるとすぐに「いやしの祈り」が始まって、手を左のわき腹に当てて祈りを受けまし

た。すると痛い部分がますます大きくなると膀胱まで降りてきて、何か突き抜ける感じがしました。一瞬、腎臓結石が降りてきていると直感しました。痛みを我慢しながら時を見計らってトイレに行ったら、はたして尿と一緒に結石が排出されたのです。ハレルヤ！

その日以降、私の信仰生活には感謝と喜びが加わりました。左のわき腹の痛みがなくなってからだが軽くなったのはもちろん、これまでに受けた恵みに感謝してために配ってきた新聞『万民ニュース』を今でも変わらず隣人に渡して、神様の愛を伝えていきます。このような体験を通して信仰を加えてくださった愛の父なる神様にすべての感謝と栄光をおさげし、祈ってくださった堂会長先生にも感謝します。



▲イ・ジェロク牧師のいやしの祈りを受けた後、からだから出て来た約4 mmの腎臓結石

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町5-775-15
T) 098-914-3027 FAX兼用
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472